

図画工作科学習指導案(本時案) 1 学年
 単元名『あさがおの小物入れを作ろう』

平成 30 年 9 月 7 日(金) 第 1 校時
 授業会場 1 年西組教室
 1 年西組 男子 20 名 女子 18 名 計 38 名
 指導教員
 授業者

1 本時案

(1) 本時の位置 (全 4 時間扱い中の第 3 時)

前時：小物入れのデザインの工夫をした。

次時：小物入れの仕上げをする。鑑賞会をする。

(2) 本時の主眼

あさがおの綺麗さや美しさを小物入れに描きたいと願っている子ども達が、小物入れ作りの続きをする場面で、ポケットを作ったり、組み立てたりすることを通して、自分の手で完成に近づけることができたという達成感を味わうことができる。

(3) 指導上の留意点

- ① 手順として動画を提示するが、全員に見やすいように何回かに分けて見せたり、画面をできるだけ明るくする。
- ② 動画を一度見るだけでは理解しきれない子どももいると考えるので、動画をもう一度見せるというような手立てをする。
- ③ 子ども達の作業の進捗には個人差があると予想されるため、組み立てる作業などを動画で説明する場合に何度かに分け、全員が自分に合ったタイミングで見ることができるようにする。
- ④ ポケットの組み立てに戸惑ってしまう子どもがいると予想されるので、教師は手立てとしてわかりやすいように、あらかじめのりを貼る順番を番号で示し、実物に番号をふっておく。
- ⑤ 初めの導入の場面で、次に行う作業を子ども達に問うが、その返答によっては適宜授業内容を変更する。先にポケットを作りたいという意見が出れば、先にポケットの作り方を説明し、終わり次第本体の組み立ての説明に入るが、本体の組み立てを先にしたいという意見が出た時には、先に本体の説明をし、そのあとポケットの説明にする。本時案では、子どもに質問した時に、どちらの意見も同時に出了ることを想定して作成した。

(4) 本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導入 ／	1 作品例を見て、今日行う活動を理解する。	・早く作りたいなあ。 ・完成させたい。 ・ポケットを作りたい。 ・ポケットにも絵を描きたい。 ・組み立てたいなあ。	5	「小物入れの本体にたくさん絵を描いたよね。次はどんなことをしたらいいかな。」 ○子ども達が理解しやすいように作品例を見せながら、本時子どもが行いたい作業を聞く。
	2 動画を見て、具体的な完成図を想像する。	こものいれをかんせいさせよう。 ・動画見なくてもわかるよ。 ・こんな風に作ればよいのか。 ・思ったより簡単にできそうだな。 ・難しそう。 ・ポケットを組み立ててしまったら絵はい	10	○小物入れを組み立てる動画とポケットを組み立てる動画をみせる。 ○わかりやすい動画を提示して、子ども達の理解を深める。 ○動画を見せた後に、手順を子ども達

展 開	3 ポケットに工夫をする。	つ書けばいいの。 ・番号のところにのりを貼ればよいのか。 ・ここここをのりでくっつけばいいのか。 ・はさみでまず切り込みをいれる。 ・紙を貼り合わせる。 ・一番から順に貼っていけばいいね。 ・ポケットにも絵を描きたい！ ・自分だけのポケットを作りたい。		に聞きながら板書する。 ○動画の工夫として、本体の底をのりで貼り合わせるときに見やすく、わかりやすいように、底に番号をふっておく。
	ポケットをつくったり、くみたてたりしたらよさそうだ。			5 「ポケットは白いままで張り付けてしまってもいいのかな。」 「先に組み立ててからポケットを作ってもいいし、その逆でもいいよ。まだ本体の絵が完成してない人はそれもやっていいよ。」
／ 終 末	4 個人活動 実際にポケットづくりや組み立てをする。	・難しそうに思えたけど、実際にやってみたら思ったより簡単にできた。 ・しっかり貼り合わせないと取れてしまう。 ・かわいいものができそう。	20	○わからない子にはできるだけ丁寧に指導する。 ○できるだけ全体をみて机間指導する。 評価：自分の手で完成に近づけることができたか。 発言、活動の様子、つぶやき、作品
	5 本時の振り返りをする。	・ポケットにもいい絵が描けた。 ・組み立てるの結構簡単だったよ。 ・完成するのがとても楽しみ。 ・あさがおの種いれたい。 ・宝物をいれようかな。	5	「今日気が付いたことや困ったことがあった人はいるかな。組み立ててみて思ったことでもいいよ。」 「この小物入れ、どんなものをいれたい。」